

青雲



【目指す学校像】

学びと感動と温かさのある学校

【教育目標】 1 自主・自学の向上心を持ち、真剣に学習する生徒
2 礼節の中に思いやりをもち、互いに認め合う生徒
3 心身を鍛え合い、たくましく生きる生徒

【校訓】 『親和一誠』『自発協力』

1年間の学びを終えて

本日、1年生は203日、2年生は204日の授業を終え、修了式を迎えました。校長から式辞の中で次のような話がありました。

ただ今各学年の代表、菅原君(1の1)、加藤君(1の2)、阿部泰(1の3)、伊藤君(1の4)、名取さん(2の1)、後藤君(2の2)、小野君(2の3)に修了証を渡しました。これは、1年生、2年生で学ぶべき課程を修了したことを証明するものです。

卒業式でもふれましたが、今年は『凡事徹底』と『小さな勇気』という話をしました。1年を振り返ってどうでしょうか。ちょっと怠けなくなった自分に「ちっちゃい勇気でえいっ」と力を入れたことは何ですか？4月に比べてあなたはどう変わったでしょう。どこが自慢できるようになりましたか？塩竈二中の1年生として、2年生としての成長をかみしめて、自分で自分を褒めてあげてください。そのことをご家族にも胸を張って伝えてください。そして、2年生、3年生をどう頑張っていこうかなと目標を立ててください。

また、普段の生活リズムや態度、スマホやゲームをする時間が短い生徒、更には虫歯の少ない生徒は成績がいいという結果があります。まさしく『凡事徹底』なのです。

4月10日が始業式、11日が入学式です。皆さんは一つ進級します。新入生を優しく迎え入れてこれが中学生だ！という姿を1年生に見せて、手本になってください。「何でも一生懸命やる先輩、かっこいいな」と尊敬される上級生になってください。そのためには、春休みはとても大切になります。新年度のスタートがよいものとなるよう、この春休みにしっかりと生活習慣を身に付け、1年間の目標を定めてください。

春は、すべてのものが芽を出し、活動的になり始める季節です。物事を始めるのにもっともよい季節です。いい春になるようにしていきましょう。



修了
おめでとう!

先輩宜しくお願いします！！

中学校生活を学ぶ会



3月7日(火)に杉の入小学校6年生を1年生教室に招いて、「中学校生活を学ぶ会」を行いました。4月からの中学校生活を少しでも安心してスタートさせるため、小中一貫教育の一つとして実施した活動です。

各教室では、5つのグループに分かれて活動しました。「学習や授業について」や「部活動について」「小学生からの質問に対して、一生懸命に教えようとする1年生の姿に、先輩としての優しさが感じられました。中学生にとっては一年間の生活の中で当たり前になったことでも、小学生にとっては不安なことばかりだった一年前の自分を思い出し、一年間の成長を実感することができたことと思います。そして、これからの中学校生活を一層充実させようとする機会にすることができたのではないかと思います。

村山市との交流会



絆を強めました

3月18日(土)男女バスケットボール部が塩竈市を代表して山形県の村山市の楯岡中学校・葉山中学校とスポーツ交流を行いました。本来は1月に実施する予定でしたが、インフルエンザのため延期されていました。校庭や校地内にはまだ沢山の雪が残っている村山市の楯岡中学校を会場に3校で交流試合を行いました。開会に先立って、女子バスケットボール部の吉田主将から「フェアプレー精神で楽しみながら試合をするとともに、震災からの復興に向けて頑張っていきます。」という力強い言葉が話されました。その後の試合では日頃の練習の成果が発揮され、熱戦が繰り広げられました。閉会式では、男子バスケットボール部の小野主将が「今日の試合の中で学んだことを、これからの練習に生かしていきます。」という言葉を感じるとともに発表しました。

後片付けをしているときに、嬉しい話を葉山中学校の校長先生から伺うことができました。葉山中学校では3月11日に合わせて、集会が行われたとのことでした。東日本大震災を語り継ぐことで、震災の記憶を風化させないようにしているとのことでした。そういえば、東日本大震災の時、真っ先に給水車を派遣してくれたのは村山市でした。これからも村山市との友好が続くことを願ってやみません。会場を提供いただいた楯岡中学校、参加してくれた葉山中学校の皆さんや関係者の皆様に、紙上をお借りしてお礼を申し上げます。

作品の交流をしました

小中一貫教育の一環として、杉の入小学校で中学生の書きぞめ作品を掲示して頂きました。玄関に掲示していただいたため、児童だけでなく保護者の皆さんにもご覧いただきました。初めて『行書』を見た児童は、あまり目にするものがない字体に、興味津々だったとのことでした。また、保護者からは「私も昔習っていました。」という声が聞かれたとのことでした。今後も作品を含めて小中の交流を継続していきます。



書きぞめ作品の展示



うれしい電話がありました！

先日千賀の台にお住まいの方から電話がありました。内容は次の通りです。

今朝6時30分頃、家の前の公園（千賀の台一丁目辺り）の落ち葉を掃いていたら、二中のジャージを着た男子生徒が道路の反対側から歩いてきて、「手伝います。」と話しかけてくれました。とてもうれしい言葉だったのですが、「手がぬれるからいいよ。大丈夫だから。」と返事をしました。とのことでした。自宅に戻ってよく考えたところ、生徒が「せっかく言ったのに断られた。」と思ったら悪いことをした……。と思い、とてもうれしかったので学校に電話をしました。

以上のような内容でした。見知らぬ人に声を掛けることはとても勇気のいることです。しかし、その生徒は相手を思いやる気持ちが勝ったのでしょう。「小さな勇気」を出して手伝おうとした生徒が二中にいると思うと誇らしくなります。「小さな勇気」これからも大切にしたいものです。

